

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 2 報
千葉県農林水産部
平成 25 年 6 月 17 日

● 早生品種は適期に穂肥を施用し、その後は湛水管理で品質向上を図りましょう。

● コシヒカリは中干しを行い、過剰な分けつを抑えましょう

【 生育概況 】

5月29日に関東甲信地方が梅雨入りし、その後の気温は平年よりも高めで推移しています。一部で茎数確保が遅れているほ場もありますが、生育はおおむね回復し、幼穂形成期はほぼ平年並と予測されます。また、生育が順調な地域では早生品種が幼穂形成期を迎えています。葉色がやや濃く、茎数はやや多くなっているため、今後の穂肥のやり方に注意する必要があります。

表 1 品種別の生育状況 (6月15日現在)

| 品種 | 植付時期 | 平年比※ | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | 葉令の進み | 草丈 | 茎数 | 葉色 |
| ふさおとめ | 4月20日頃 | 並～やや早 | 並 | やや多 | 並～やや濃 |
| ふさこがね | 4月20日頃 | 並～やや早 | やや短～並 | 並～やや多 | 並～やや濃 |
| コシヒカリ | 4月20日頃 | 並～やや早 | 並 | 並～やや多 | 並 |
| | 5月1日頃 | 並～やや早 | 並 | 並～やや多 | 並 |
| ふさのもち | 4月20日頃 | 並～やや早 | 並 | やや多 | 並～やや濃 |
| | 5月10日頃 | 並～やや早 | 並 | やや多 | 並 |

※ 過去5か年(2008～2012年)の平均値との比較。

ただし、「ふさのもち」については2010～2012年の平均値との比較。

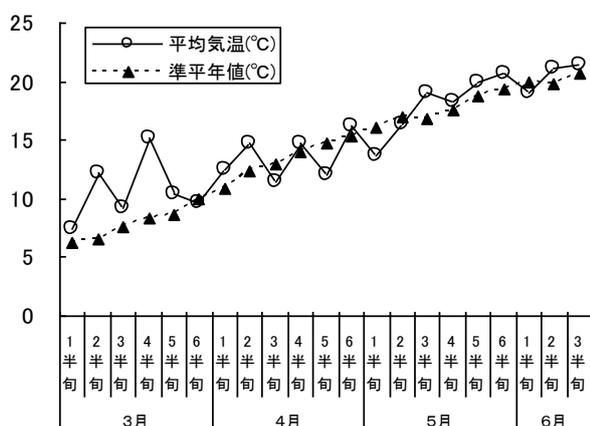


図 1 日平均気温の推移 (佐倉市)

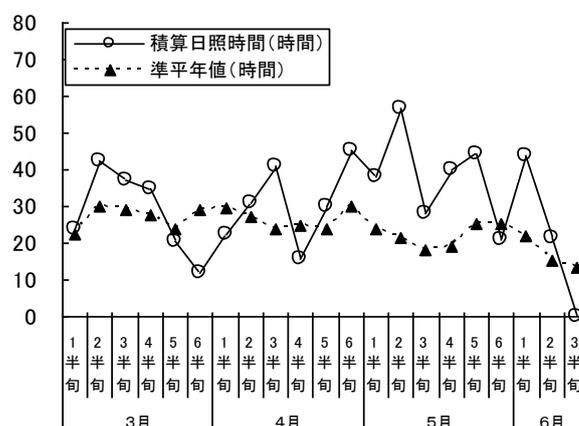


図 2 日照時間の推移 (佐倉市)

表 2 品種別の幼穂形成期と冷害危険期の予測

| 品種 | 植付時期 | 幼穂形成期予測（月日） | | | | 冷害危険期 予測(月日) |
|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-----------------|
| | | 県北 | 九十九里 | 内湾 | 県南 | |
| ふさおとめ | 4月20日 | 6月21日 | 6月17日 | 6月18日 | 6月16日 | 6月26日 |
| ふさこがね | 4月20日 | 6月21日 | 6月19日 | 6月20日 | 6月18日 | 6月28日 |
| コシヒカリ | 4月20日 | 7月1日 | 6月27日 | 6月27日 | 6月25日 | 7月 5日 |
| | 5月 1日 | 7月 4日 | 7月 2日 | 7月 2日 | 7月 1日 | 7月11日 |

※ 幼穂形成期予測は日平均気温に基づく発育段階予測結果。

【 これからの管理のポイント 】

■ **水管理** ～全量基肥（一発肥料）栽培の場合も水管理は大切です～

○ 中干しとその後の水管理

基本的な水管理は①～④のとおりです。特に、「③」は自然由来のカドミウムの吸収を抑えるために必要な技術です。「安心・安全」な米作りのために注意して管理しましょう。

- ① 土が湿って足跡が残る程度まで中干しをする。
- ② 十分に中干しができたら、出穂 3 週間前までは間断かんがいを行う。
- ③ 出穂 3 週間前から出穂 2 週間後までは湛水管理をする。
(幼穂形成期を確認したら、入水を開始する。)
- ④ 出穂 2 週間後から出穂 25 日後までは間断かんがいを行う。

○ 低温時には湛水

幼穂形成期以降に平均気温 20℃以下の低温が続くことが予想されるときは、冷害防止のために深水で湛水（保温）しましょう。

表 3 低温時湛水深の目安

| | |
|-------------------------------------|-------------|
| 幼穂形成期（出穂 25 日前）から冷害危険期（出穂 15～10 日前） | 湛水深 10cm 程度 |
| 冷害危険期（出穂 15～10 日前） | 湛水深 20cm 程度 |

早生の穂肥

○ 幼穂長を確認し、穂肥は適期に

■ 穂肥の適期を判断するために、幼穂を確認しましょう。

幼穂形成期は幼穂長 1mm(出穂 25 日前)の株が全体の 8 割に達した時点です。ここから数日に出穂 3 週間前(湛水管理開始期)になります。

穂肥の適期は品種ごとに次項以降を参照してください。

ほ場の中で中庸な生育をしている連続した 5 株程度を選んで、各株の最長茎の幼穂長を測定します。1mm を超えた株の数が測定した株数の 8 割に達した日が幼穂形成期です。

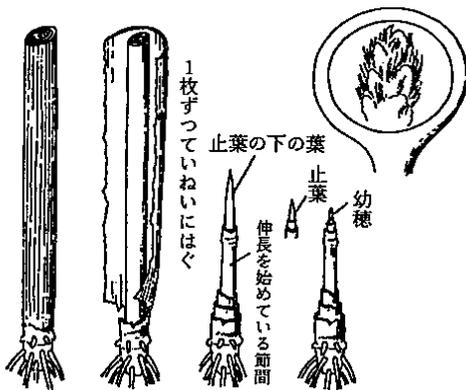


図3 幼穂の確認方法

(出典：農文協 農業技術体系作物編 P134)

▽ふさおとめ

4 月 20 日植えの「ふさおとめ」は 6 月 16 日頃から幼穂形成期を迎えています。穂肥適期は幼穂形成期～出穂前 18 日(幼穂長が 1mm～10mm)です。穂肥の遅れは食味低下の原因になるので注意しましょう。施肥量は、砂質土や壤質土では窒素と加里を 10a 当たり成分量で各 3kg。房総南部の粘質土では 1～2kg が目安です。表 4 の目安より茎数が多い場合は、窒素量を減らしましょう。

表 4 「ふさおとめ」穂肥施用の目安(幼穂形成期)

| 品種 | 草丈 cm | 穂肥施用目標茎数 | | | 葉色(カラー スケール値) |
|-------|-------|---|----|---|------------------|
| | | 砂質 | 壤質 | 粘質 | |
| ふさおとめ | 55 以下 | 570～620 本/m ² (31～34 本/株) | | 520～570 本/m ² (29～31 本/株) | 4.0 |

※ 茎数の () 内は 30cm×18cm で植え付けされた時の 1 株平均茎数

■ 穂肥の遅れは品質低下の原因

図 4 は「ふさおとめ」玄米の粒厚別タンパク含量について、適期(出穂前 18 日)の穂肥と 8 日遅れの穂肥とで比較したものです。穂肥の遅れが玄米タンパク含量を高め、食味に悪影響を及ぼす可能性を示しています。

穂肥の適期施用は、収量確保だけでなく、米の品質向上の鍵を握る技術でもあります。必ず自分で幼穂長を確認しましょう。

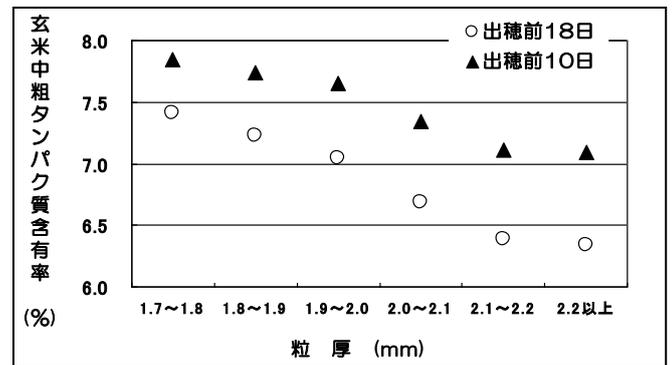


図4 穂肥施用時期と玄米の粒厚別粗タンパク含量の関係

▽ふさこがね

4月20日植えの「ふさこがね」は6月18日頃から幼穂形成期を迎えます。穂肥適期は出穂前18日（幼穂長が10mm）です。品種特性上、葉色は「ふさおとめ」よりやや濃いですが、施肥量は、窒素と加里を10a当たり成分量で各3kgです。

表5 「ふさこがね」穂肥施用の目安（幼穂形成期）

| 品種 | 草丈 cm | 穂肥施用目標茎数 | 葉色（カラー スケール値） |
|-------|----------|------------------------|------------------|
| ふさこがね | 60～65 以下 | 450～500 (25～27 本/株) | 5.0 |

※ 茎数の（ ）内は30cm×18cmで植え付けされた時の1株平均茎数

▽コシヒカリ

「コシヒカリ」の幼穂形成期は6月下旬以降と予測されるので、穂肥施用については第3報（6月26日発行予定）で記載します。

■ イネクロカメムシ防除

6月12日付で病害虫発生情報第2号「水稻イネクロカメムシ多発生のおそれ」が発表されました。安房、君津地域で発生が多く、近年、徐々に発生が拡大しています。発生が多い場合には、成虫飛来期の6月に下記薬剤を散布しましょう。また、7月末～8月上旬に幼虫が多数見られる場合には、幼虫防除を実施します。

| 薬剤名 | 使用時期／使用回数 | 10a 当たり散布量 |
|------------------|----------------|------------|
| エルサン粉剤2 | 収穫7日前まで／2回 | 4kg |
| エルサン乳剤1000倍液 | | 60～150L |
| スタークル液剤10 1000倍液 | 収穫7日前まで／3回 | 60～150L |
| スタークル／アルバリン粒剤 | | 3kg |
| スミチオン乳剤1000倍液 | 収穫21日前まで／2回 | 60～150L |
| スミチオン粉剤3DL | 収穫21日前まで／2回・※1 | 3～4kg |

※1 出穂前散布は1回まで

■ いもち病防除

梅雨期はいもち病が発生しやすく、注意が必要です。平均気温20～25℃で曇雨天が続く場合、葉いもちの発生が懸念されます。薬剤は5ページの表6を参照してください。

表 6 いもち病の主な防除薬剤

| 作用性 | 薬剤名 | 使用時期／使用回数 | 使用時期／使用回数の注記 | 10a 当たり散布量 |
|-------------------|----------------------|---------------|--|------------|
| 予防 | オリゼメート粒剤 | 右記／2回 | 葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 3～4 週間前（ただし、収穫 14 日前まで）に散布 | 3～4kg |
| | キタジン P 粒剤 | 右記／2回 | 葉いもちには初発 7 日前から初発時に、穂いもちには出穂 20～7 日前に散布 | 3～5kg |
| | コラトップ粒剤 5 | 右記／2回 | 葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布 | 3～4kg |
| | // ジャンボ | 右記／2回 | 葉いもちには初発 20 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布 | 10～13 個 |
| | ブイゲット粒剤 | 収穫 45 日前まで／2回 | 葉いもちには初発 20～7 日前に湛水散布 | 3kg |
| | フジワン粒剤 | 収穫 30 日前まで／2回 | 葉いもちには初発 10～7 日前に、穂いもちには出穂 30～10 日前に湛水散布 | 3～5kg |
| | ラブサイド粉剤 DL | 収穫 7 日前まで／3回 | | 3～4kg |
| | ルーチン粒剤 | 収穫 30 日前まで／2回 | 湛水散布 | 1 kg |
| 予防・治療 | イモチエース粒剤 | 収穫 35 日前まで／1回 | | 3kg |
| | カスラブサイド粉剤 DL | 穂揃期まで／2回 | | 3～4kg |
| | ダブルカットフロアブル 1,000 倍液 | 穂揃期まで／2回 | | 下注参照 |
| | ノンプラス 粉剤 DL | 収穫 21 日前まで／2回 | | 3～4kg |
| | // フロアブル 1,000 倍液 | 収穫 21 日前まで／2回 | | 下注参照 |
| | ブラシン 粉剤 DL | 収穫 21 日前まで／2回 | | 3～4kg |
| // フロアブル 1,000 倍液 | 収穫 21 日前まで／2回 | | 下注参照 | |
| 治療 | カスミン 粉剤 DL | 穂揃期まで／2回 | | 3～4kg |
| | // 液剤 1,000 倍液 | 穂揃期まで／2回 | | 下注参照 |

注：フロアブル剤、液剤の 10a 当たりの散布量の目安は、次のとおり。

本田初～中期：100～120 リットル、穂ばらみ期・出穂期：120～150 リットル

■ 出穂 2 週間前までの畦畔雑草防除

畦畔雑草はカメムシ類が水田に侵入するのを助長します。出穂前2週間までに畦畔雑草を刈り取りましょう。



図5 ふさこがね（4月20日植え）

6月17日（千葉市緑区刈田子町）の様子

茎数はやや多い。間もなく幼穂形成期に入る。今後、湛水管理を行う。

適正な施肥で健全な稲の栽培に取り組みましょう

～加里を補い、放射性セシウムの吸収抑制を図りましょう～

窒素、リン酸、加里は稲の生育に重要な肥料成分です。

しかし、近年、加里の土壌中成分量が不足している例が見受けられます。加里を補い、健全な稲の育成に努めましょう。

中間追肥や穂肥での加里施用は、米の放射性セシウム吸収抑制対策にも効果的です。

<ポイント> 加里肥料を適正量まで施用しましょう！

県の加里の施用基準量は、基肥 6～8kg/10a、穂肥 1～3kg/10a です。

加里を施用することによって、放射性セシウムの稲への吸収を抑制することができます。なお、倒伏を防ぐため、窒素は適正量とします。

特に、土壌中の加里含量が少ないことが見込まれる以下の水田では、穂肥より効果の高い中間追肥で加里の施用を行いましょう。なお、早生品種は、穂肥の時期を迎えつつあります。中間追肥を行わなかった場合は、穂肥で加里の施用を行いましょう。

- ①倒伏を回避するため、基肥の施用量を控えた水田
- ②一発肥料のみの施用で穂肥分の加里が不足している水田
- ③耕畜連携等により水田から稲わらを持ち出し、堆肥を入れなかった水田
- ④土壌に含まれる加里が少ないと思われる（砂質）水田

加里肥料の施用量

稲は生育期間を通して、10kg/10a程度の加里を必要としています。不足分の加里成分を適量追肥してください。

例1) 一発肥料のみ施用している場合

穂肥分の加里成分(3kg/10a)を補います。

成分から換算すると ・塩化加里 : 5kg/10a 又は
・ケイ酸加里 : 15kg/10a となります。

例2) 水田から稲わらを持ち出している場合

稲わら分の加里成分(9kg/10a)を補います。

成分から換算すると ・塩化加里 : 15kg/10a 又は
・ケイ酸加里 : 45kg/10a となります。

※塩化加里の方が速効性があります。